

# 一 職 員 の 声 一

～ 新潟地方法務局 ～

## 局長 中村 誠



法務局では、不動産登記や法人に関する登記を始め、戸籍・国籍や供託に関する民事行政事務、国の代理人等として訴訟活動を行う訟務に関する事務、人権が侵害された場合に調査救済などを行う人権擁護に関する事務などの多岐にわたる事務を取り扱っています。

これらの事務は、いずれも国民の皆様の生活に密接に関わっており、法務局は、その業務を通じて、国民の皆様の権利を守り、社会経済活動を下支えするという大きな役割を担っています。

これらの事務に加えて、最近では、所有者不明土地問題の解消に向けた相続登記の促進や自筆証書遺言書保官制度の導入など、新しい課題にも積極的に取り組んでおり、法務局が果たすべき役割はますます大きくなってします。

また、当局は、30歳未満の職員が多い職場でもあります。

法務局は、堅いイメージがあるかもしれませんが、和やかな温かみのある職場です。是非、ここであなたの力を存分に発揮してください。お待ちしております。

## 総括上席訟務官 内藤武夫



訟務部門では、国の利害に関係のある争訟について、国の立場から裁判所に対して申立てや主張・立証などの活動を行っています。具体的には、国有財産である土地の不法占拠者に対する土地明渡請求訴訟、国家公務員の不法行為を理由とする国家賠償請求訴訟、行政処分取消し又は無効確認を求める訴訟などについて、国の指定代理人として、訴状や準備書面などを作成し、裁判所に出廷して主張・立証するなどの訴訟追行をしています。

新潟地方法務局では、新潟水俣病に関する国家賠償請求訴訟・行政処分取消請求訴訟、福島第一原子力発電所やB型肝炎に関する国家賠償請求訴訟など、社会の耳目を集める大型訴訟を取り扱っています。

訟務部門の特徴としては、管区局である東京法務局とのつながりが強い組織であることが挙げられます。東京法務局訟務部には、部付検事（法曹資格者）が在籍しており、部付検事から指導を受けながら共同して業務を行うことにより、法律的な考え方を身に付けることができます。また、他省庁の方とも接する機会が多いので、業務を通じて行政マンとしての見識を高めることができます。

訴訟なんて難しそうだなと考える方もいるかもしれませんが、心配無用です。訟務部門は、研修制度が充実しており、訟務責任処理体制により、組織的に業務を行っていますので、最初は法律に精通していなくても、業務を行いながら成長し、活躍できる職場です。

## 供託課長 遠藤文雄



供託課では、供託事務と自筆証書遺言書保管事務を担当しています。供託事務の一例としては、家主が家賃を受け取らないときなどに、借主が法務局に家賃分の金銭を供託することで法律上家賃を支払ったことと同じ効果を発生させる弁済供託があります。また、自筆証書遺言書保管事務とは、令和2年7月から開始された法務局の新たな業務で、法務局が大切な遺言書を保管することにより、これまで問題とされた紛失等が防げることとなります。このように法務局では、国民の皆様が困っていることについて、専門的な知識をもって寄り添い、解決するための支援を業務としています。それらの専門的な知識は、先輩及び上司のほか、法曹資格者からの専門的な研修により取得でき、皆様自身の大きなステップアップにもつながります。国民の皆様から信頼される活気ある職場で、社会の期待に応える充実感を一緒に実感しましょう。

## 統括登記官 塚本明子



皆さんが職業を選ぶ基準は何ですか？私が公務員を選んだ理由は、女性でも働き続けることができる職業であると思ったからです。法務局に入局して以来、私が結婚・出産しても働き続けることができているのは、人生の節目に必要な育児休業や看護・介護休暇といった各種制度が保障されているなど、家庭と仕事を両立できる、女性の働きやすい環境が整っているからです。法務局の業務は、登記、戸籍・国籍、供託、訟務、人権擁護等多岐にわたりますが、それぞれの分野で多くの女性が家庭と仕事を両立し、活躍しています。女性が働きやすい職場は、男性も働きやすい職場であると思います。国民の皆様から信頼され、自分の実力を発揮できる、やりがいのある職場で一緒に働きましょう。

## 登記官 笹谷健司



不動産登記は、国民の重要な財産である不動産（土地、建物）の所在、面積、所有者の住所・氏名などを登記簿に記録し、一般に公開することによって、不動産取引の安全と円滑に寄与しています。登記官は、日々大量に提出される登記申請を法令に基づいて審査しますが、この審査業務を適正に行うためには民法や不動産登記法を始めとした関係法令の深い理解が不可欠です。最近、民法の改正や新たな関係法令の成立等が相次いでいるため、毎日の自己研さんが欠かせませんが、その分やりがいのある仕事です。法務局は、仕事を通じて自分も成長したいと考えている方には自信をもっておすすめできる職場です。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

# 先輩職員からのメッセージ

会計課・成海郁也（平成28年度採用）

## 1. 現在の仕事の内容は？

会計課で、当局（国）が所有している国有財産（土地や建物）に関する事務を行っています。

庁舎で不具合が発生したらすぐに直すよう業者に発注したり、国有財産の各種管理など、余り目立つ仕事ではありませんが、庁舎等を長期的に使用するためには不可欠な業務であり、お客様に御不便をお掛けすることがないようにするため、縁の下の力持ち的な仕事をしています。

## 2. 職場の雰囲気は？

和気あいあいとしています。分からないことがあれば誰にでも相談できますし、時には笑い声も出るようなアットホームな職場です



## 3. 仕事を行う上で心掛けていることは？

迅速に仕事を行うことです。建物のある箇所が壊れた、機器の調子が悪い、といったときにゆっくり対応してはお客様に危険が及ぶ可能性もあります。また、物品の調達を行う仕事においても、使用する物品がなくなり、届かなければ他の仕事が滞り、結果的にお客様に御迷惑をお掛けする可能性もあります。

このようなことを起こさないために、常に仕事は迅速に行おうと心掛けています。



## 4. 仕事でやりがいを感じることは？

専門的な知識を身に付けられることです。法務局は全般的に仕事の専門性が高く、特に法律知識については業務を適正に行う上で不可欠ですが、日常業務や研修を通じて、知識を身に付けていくにつれて仕事をスムーズに進めることができ、やりがいを感じます。

## 5. 仕事で大変なことは？

期限（時間）を気にしなければいけないことです。当たり前のことではありますが、どの仕事にも期限があります。定例の仕事もあれば突発的な仕事もあり、それらの優先順位をつけながら仕事をしなければいけません。多岐に及ぶ業務の中で、それらの判断をしながら適正に行わなければいけないため、人事異動により職務内容が変わったときは特に大変だと思いました。

## 6. 新人のころはどうでしたか？

仕事を覚えるのに精一杯でした。この仕事が一体どの法律・規則等に基づいているのかが分からないということも多くありましたが、各種研修で学んだり、上司・先輩方から教えていただいたことで徐々に仕事に慣れ、段々と仕事が楽しく思えてきたことを覚えています。



## 7. 法務局に興味を持っている方へのメッセージをお願いします

法務局には様々な業務があり、入局後は様々な職場・職員と関わりながら仕事を行っていきます。その中で自分が活躍できる場をきっと見つけられると思います。また、ここ数年は新規採用者も多く入局し、若手職員も多く、活気あふれる職場です。是非、法務局へ入局していただき、皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。その際は全力でサポートします。

# 先輩職員からのメッセージ

新津支局・神田としみ（平成28年度採用）

## 1. 現在の仕事の内容は？

新津支局登記部門に所属しており、不動産登記に関する業務に従事しています。現在は権利係で、申請内容の審査及び登記情報に反映させる記入業務を担当しています。

## 2. 職場の雰囲気は？

メリハリのある職場で、業務を時間内で完結させようという意識の下、日々の業務に取り組んでいます。



## 3. 仕事を行う上で心掛けていることは？

法令に基づいた処理を適切に行うために、根拠法や参考資料をおろそかにしないことです。また、お客様に案内するときには、ホームページの案内を参考に、分かりやすい説明を心掛けています。

## 4. 仕事でやりがいを感じることは？

複雑な案件でも自力で達成できたときや、お客様に適切に案内できたときなど、成長を実感できたときにやりがいを感じます。

## 5. 仕事で大変なことは？

誤りのない処理をすること、期限に間に合わせることです。どちらも当たり前のことですが、だからこそ達成し続けなければならないと思っています。

## 6. 新人のころはどうでしたか？

法学部ではなかったのですが、法律を扱う業務に不安がありました。しかし、職場の先輩方からOJTや勉強会で指導していただいたり、研修を受けたりと、働きながら学んでいくことができました。



## 7. 法務局に興味を持っている方へのメッセージをお願いします

法務局は、国民の生活に関わる様々な業務を経験する中で、学び、成長していくことができる職場です。また、多様な研修を通して、全国各地につながりを持つこともできます。皆さんと一緒に仕事ができる日を、楽しみにしています。

# 先輩職員からのメッセージ

総務課・原 寿希也（平成29年度採用）

## 1. 現在の仕事の内容は？

私は現在、総務課人事係で職員の給与支給に係る業務を行っています。そのほかにも、休暇や勤務時間の管理、ワークライフバランスの推進など、職員の業務を陰から支える業務に従事しています。

## 2. 職場の雰囲気は？

分からないことは何でも相談できる、アットホームな職場です。また、私のくだらない世間話も、皆さん笑顔(?)で楽しそう(?)に聞いてくれる、非常に居心地のいい職場でもあります。



## 3. 仕事を行う上で心掛けていることは？

「いかに分かりやすく、いかに端的に自分の考えを伝えることができるか」を第一に心掛けています。そのために、法的根拠に基づく裏付けやそこから導かれる客観的な解釈等を盛り込みながら、見る人の立場に立った決裁や上司への説明を行うようにしています。

## 4. 仕事でやりがいを感じることは？

毎月給与の決裁が無事に完了すると、ほっと一息つくことができます。そして、給与支給日にきちんと給与が振り込まれているのを見て、それをモチベーションに「また次も頑張ろう。」という気持ちになれます。

## 5. 仕事で大変なことは？

「給料は給料日に支給されて当たり前」という点が、自分にとってはプレッシャーに感じる部分でもあります。その「当たり前」を「確実に」実行するため、細かな点も逐一チェックし、法的根拠等を確認しながら、誤支給を起さぬよう細心の注意を払っています。

## 6. 新人のころの思い出は？

社会人生活も一人暮らしも初めての私に、職場の皆さんがとても優しく接してくれました。また、公私の「私」の部分でも大変お世話になり、法務局職員としての心構えとともに、社会人としての常識や立ち振る舞いなど、たくさんのことを教えていただきました。

初任庁で勤務した2年間は、私にとって忘れることのできない、とても大切なかけがえない財産です。



## 7. 法務局に興味を持っている方へのメッセージをお願いします

私の考える法務局の魅力は、常に学び、学ぶことによる刺激を受けながら仕事ができるところだと感じています。当初は「年齢を重ねると、過去の経験に基づいた刺激のない業務をただ繰り返すだけでは？」というイメージがありましたが、周りの上司や先輩方が分厚い六法を見ながら真剣に話し合いをしている姿を見て、年を重ねても学び続け、常に新たな刺激を受けながら仕事のできる、大変やりがいある素晴らしい職場だと感じました。

また、法務局の業務は非常に多岐にわたることから、そこから学び、刺激を受けながら働けることは、皆さんの人生にとって、必ず大きな財産になるはずです。

法務局業務のどれか1つでも興味をお持ちになったら、是非、業務説明会に参加してみてください。そして、同じ法務局職員として、一緒に働くことのできる日を楽しみにしています。

それでは、まずは業務説明会でお待ちしています。

# 先輩職員からのメッセージ

会計課・上谷類寿（令和元年度採用）

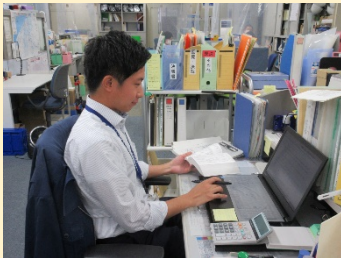
## 1. 現在の仕事の内容は？

私は、会計課で主に役務関係の調達業務を行っています。余りイメージが湧かないと思いますが、法務局が日常の業務を遂行できるよう、庁舎の清掃や各種設備の点検業務の調達、作業実施後の支払事務等を担当しています。



## 2. 職場の雰囲気は？

一言で表すと、メリハリのある職場です。笑うときは思いっきり笑い合い、問題や懸案に対応するときは、お互いに助け合いながら仕事をしています。先輩方にも気兼ねなく相談できる環境の下で、同時に、一人の職員として頼りにされていると感じることもあります。



## 3. 仕事を行う上で心掛けていることは？

基本的なことですが、「根拠」を知っておくことです。会計を含む法務局の業務には、それぞれ根拠となる法律があり、それに基づいて仕事をしています。そのため、業務の中で問題が生じた場合には、法令や通達を調べ、その趣旨や目的を把握した上で解決していくことが重要になります。仕事中は、常に六法や通達集を開く癖を付けるようにしています。

## 4. 仕事でやりがいを感じることは？

会計課はどちらかというと裏方的な役割を担う部署であるため、国民の皆様の役に立っていると直接感じる機会は少ないかもしれませんが、しかし、法務局の主管業務や重要施策を遂行するために必要な土台を用意し、環境を整え、道具を調達するのが会計課の仕事であるため、そのような点においては、非常にやりがいを感じています。

## 5. 仕事で大変なことは？

外部の方々との交渉です。今の仕事では、業務委託先の企業と連絡を取り合うことが多いのですが、時には他省庁の担当者と折衝を行うこともあります。私たちの考えと相手方の考えをすり合わせ、まとめるのには苦勞する場合もあります。

## 6. 法務局に興味を持っている方へのメッセージをお願いします

法務局は、国民の皆様の権利保護のための事務を多岐にわたって取り扱っています。もちろん、私自身もまだ未経験の事務が多くあり、皆さんと一緒に勉強していくことになります。これからの法務局を、そして、これからの国民生活の基盤を一緒に支えてくれる仲間を待っています！ぜひ、法務局へ！



# 先輩職員からのメッセージ

不動産登記部門・渡部 涼（令和元年度採用）

## 1. 現在の仕事の内容は？

不動産登記部門に在籍し、不動産登記申請の内容の審査及び申請内容を登記簿に登録する業務を行っています。

## 2. 職場の雰囲気は？

上司の方や先輩方が優しいので、困ったことや分からないことを何でも相談できる職場です。



## 3. 仕事を行う上で心掛けていることは？

分からないことをそのままにせず、自分なりにでも理解することです。

曖昧なままにしないことが適正な事務処理につながると考えています。

## 4. 仕事でやりがいを感じることは？

日々の業務の中で、専門的な法律知識を学ぶことです。

まだまだ分からないことだらけですが、学んだ知識を仕事にいかすことができるときにやりがいを感じます。

## 5. 仕事で大変なことは？

窓口対応で、分かりやすくお客様に伝えることです。

お客様に理解してもらうには、まず自分がよく理解していなければならないので、日々勉強することを大切にしています。

## 6. 法務局に興味を持っている方へのメッセージをお願いします

法務局の業務は多岐にわたり、その全てが国民の権利を守る重要な仕事です。その上で、大変なこともあります。やりがいを感じる部分でもあります。法務局の業務に少しでも興味を持ったなら、是非、法務局を希望してみてください。

